

## 我がクラブの目指すところ (IM第6組)

大阪RC 会長

### 立野純三

大阪RCは、本年91年目の新たな第一歩を踏み出す年です。

今年度の運営方針は『明るく、楽しく、奉仕』としています。具体的には5大奉仕(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)に積極的に参加・実践していただき、メンバーの方々に精神的に豊かになることを実感してもらいたいと思います。

また会員増強にも力を入れていきますが、あくまで将

来大阪RCの人材となる多様で多才な人の入会を促していきます。

90周年記念事業のひとつである「宮古・大阪みおつくし奨学金制度」の実施と東日本震災復興支援のための事業を継続して行っています。

これらの運営方針の下、大阪RCの歴史と伝統を大切にしながら、変えられる所があれば改革をしながらクラブ運営を行っていきたく思っております。

大阪東RC 会長

### 塩谷眞治

今年のテーマ「作ろう歴史を・楽しもうロータリー」といたしました。

互助の精神で全員参加の活発な委員会活動、明朗な精神でクラブの雰囲気を皆で作る規律ある例会を目指します。

しかし活発な委員会活動も規律ある例会も、お互いに親しくなり打ち解けあうことによって活動できると確信し、親睦活動を充実し、多くの家族を含めた交流の場作りを行いました。

幅広く積極的に奉仕活動に取り組んでおり、震災支援活動については継続して取り組む必要があると考えています。FVPについても積極的に取り組んでいます。毎回主要課題である会員増強については委員長と3副委員長体制で取り組んでおり純増5名を目標に活動しています。

当クラブは、先人が長い時間をかけて作り上げた57年の来歴である伝統を大切に、楽しく明るい規律あるクラブ作りを目指します。

大阪東淀ちややまちRC 会長

### 大澤一雅

大阪東淀RCと大阪ちややまちRCが統合し、早いものでもう5年経ちました。もともと別々のクラブだったとは思えないほど自然に打ち解け合い楽しいクラブライフを送っています。

今年度の目標は、まず3月15日のインターシティ・ミーティングを成功させることです。リハーサルも入念に行い成功に向けて全会員が一丸となって準備を進

めているところです。IMのテーマは「見つめ直そう日本の心」～式年遷宮とお伊勢参り～です。20年に1度という日本独特のこの営みを様々な角度から皆様に知っていただければと考えています。

また、魅力あるクラブ作りや会員増強もいろいろ意見を交換しながら進めています。その甲斐あって今年度初の新入会員を先日お迎えすることができました。

我々のクラブは30人程度の小さな所帯ですが和気藹々と家族的な雰囲気の中、様々な活動に積極的に参加

し、より魅力的なクラブ作りを目指し、今後も努力を続けていこうと思います。

## 大阪城東RC 会長 福山信也

大阪城東RCは40年の節目を越え、41年目に入りました。

期首会員数は43名、平均年齢64歳、最年長会員90歳、最年少会員39歳、女性会員5名という構成になっており、昭和40年代生まれの会員も増えてきました。年代や在籍年数の違いによるロータリークラブへの要求も様々です。

このような状況を鑑み、本年度の会長方針は、「絆を深め、奉仕の輪を広げよう」としました。ロータリークラブの奉仕活動において、会員、地域、姉妹クラブとの絆の深まりが、新たな奉仕活動の創出や、会員増強につながり、奉仕の輪の広がりにつながると考えています。

個別の奉仕活動では、例年の継続事業に加え、クラブ

奉仕では、新入会員歓迎会、会員研修会。職業奉仕では、地元小学校への出前事業。社会奉仕では、城東区政70周年への協賛事業、交換留学生の受入。国際奉仕では、姉妹クラブとの提携強化、財団寄附増額、米山奨学生の受け入れなど、各委員会が積極的に活動に取り組んでいます。

このような活動を更に充実させるためには、55名程度の会員数が必要と思われる、本年度は純増5名を目標に置きました。

今年度第一例会で、チャーターメンバーから、「40年を越え、クラブの品格も上がってきた。更に高い品格のクラブを目指そう」との言葉をいただきましたので、本年度方針と併せて取り組んで参ります。

## 大阪中之島RC 会長 山本 肇

当クラブは昨年、高島ガバナ一年度で少人数ではありましたが、全会員一致団結した結果、結束したクラブに成長することが出来たと思います。今年度は少し休息したら良いと年初にその旨を申し上げました。

半年が経過し、五大奉仕他、各小委員会が頑張っていたら奉仕活動を実践していただき、感謝の念に堪えません。

今年度の当クラブは28名ですが、今年度後半の活動予定は、

2/27 大阪鶴見、大阪城北、大阪中之島3RC合同懇親会  
4/26~4/28 台北福齡RC16周年、我がクラブ初め

での奨学生の補助金の授与式へ台北に17名参加予定  
5/9~5/10 東北大震災の支援(大槌小学校、中学校、大船渡市→寄付金、パソコン、野球用具、楽器等)の贈呈式へ東北に13名参加予定

5/31~6/4 国際大会(シドニー)18名訪問予定

また当クラブのお世話で大阪鶴見RCと台湾華朋RCの姉妹締結の実現があります。当クラブの目指すところは、さらなる発展のため、魅力ある自主的な奉仕活動が自由にでき、明るく楽しいクラブにすることです。

会員相互の親睦、友情を深め、新入会員が入会してよかったですと思えるクラブを目指したいと思います。

大阪大手前RC 会長

## 大蔭政勝

大阪大手前ロータリークラブは、昨年度で創立30周年を迎えました。本年度は、今までと同様に発展を続けて行けるようクラブの体制を強化する年と考えております。会長方針は『KEEP THE SPIRITS, CREATE THE ROTARY LIFE!』、「奉仕の理想を实践し、心豊かなロータリーライフを！」です。諸先輩が培ってこられた良き伝統を大切に継承し、各分野の課題を前向きに改革して行く年であると考えております。

2月5日の歴代会長幹事会では、理事会や、拡大CLP委員会、クラブ協議会等が出てきた内容を、チャーターメンバーの方々と膝を交え、将来を見据えて話し合いました。内容は組織の合理的な改革や、運営の改革、奉仕のあり方等、基本的な議題を中心に致しました。

会員維持増強に付きましては、福家ガバナーの地区の

方針にもありますが、広報活動「公共イメージと認知度の向上」するためにホームページ等の充実が必要で年度内に一新することになりました。また次年度に向けてもFVPの積極的活用や、地区への参加協力としての地区委員の推薦を次年度4名致しました。

現在、3.11震災支援特別委員会の継承事業として相馬ロータリークラブのご協力の下に風評被害にあっている「福島産の農産物」の購入の輪を広げております。安全検査済で美味しい『福島県産コシヒカリ』です。また御協力宜しくお願い致します。

私も「ロータリーは職業奉仕が一番大事」と言われ入会して18年、『信頼の輪』と『親睦の絆』は、まさに「我がクラブの目指すところ」だと思っております。

我がクラブを紹介して下さった方に心より感謝。

大阪城北RC 会長

## 川本達雄

ロータリークラブは、「会員基盤の維持・拡大」「各種奉仕プロジェクトの実施」「ロータリー財団の支援」「次世代指導者の育成」を行うことが使命とされています。そのうちの「会員基盤の維持・拡大」は、ロータリークラブが行うすべての事業の基本となるものです。

新規会員の入会増強、会員の退会防止に努めるのが、その方策であります。ここばかりに目を奪われてはならないと考えます。ロータリークラブが会員にとって、「入会してよかった」と思える場であるとともに、ロータリークラブに興味のある人達に対して「入会したくなる」ような場にすることが、基本となります。

そのため、ロータリークラブのすべての事業を「楽しく」行える仕組みを考えるのが「我がクラブの目指すところ」です。

ここで言う「楽しく」という言葉は、ロータリークラブを単に「お遊びクラブ」にするかのように聞こえますが、そうではありません。会員がお互いによく知り合うこと、心の繋がりを持つことが中心になります。その「和」の中から、「職業を通じて、社会および国際に奉仕する」というロータリークラブの使命が果たせるのです。

実は、この「和」の考え方は、我が大阪城北ロータリークラブの従来からの考え方でもあります。

大阪天満橋RC 会長

## 在本 茂

我がクラブでは対外奉仕としての、職業奉仕、社会奉仕、新世代奉仕、国際奉仕につきましては、それぞれ伝統のある行事を行っております。その内容は職業奉仕賞の授与、青年功績賞の授与、青少年交換事業、米山奨学生の受入などです。対内奉仕としては、秋春の家族会とクリスマス家族会、等を行っております。

同好会もさかんであります。それから子クラブ、孫クラブとの交流として毎年もちまわりで三世代合同社会

奉仕事業並びに合同例会を行っております。

このように当クラブの活動は活発であると思っております。各会員はいずれかの委員会に所属することになっておりますので会員一人一人の負担はその分大きくなりますが、会員間の絆を太くしてロータリーの精神であります奉仕の理想を追求していくクラブ、まわりからよく活動しているクラブといわれるようなクラブを目指していきたいと思っております。

大阪鶴見RC 会長

## 広瀬芳和

大阪鶴見ロータリークラブは、次年度に創立30周年を迎えます。正確には2014年7月10日が満30年になり、本年度はその式典の準備年度となります。この30年を振り返り、この節目では更に将来を見据えなければならぬと思っております。

当クラブは、有難い事に鶴見緑地公園という素晴らしい市民の憩いの場所があります。ロータリー地域活動の中でその憩いの場所を利用した沢山のイベントに参加出来るチャンスも有ります。特に毎年9月に行われる鶴見区民祭りでは、公園内でホットケーキを作り販売しています。ロータリアン以外で手伝ってくれる学生は、ロータリー交換学生、日本語教育センターの留学生、地元の中学生、他沢山の学生です。

当クラブは、31名と現在会員が少ないクラブですが、非常に仲良しで和気藹々としています。交換学生も積極的に受け入れて来ました。最近、高齢化に伴って受け入れるロータリアンが少ないので困っています。

昔から大阪鶴見ロータリーは、「国際の鶴見」と言われて来ました。やはり会員を増やして、「国際の鶴見」を継続出来るように頑張りたいと思っております。特に若手の会員増強が急がれます。

本年度の我がクラブのテーマは「参加しやすい、参加したい、参加できる、気楽なクラブ」を目指しています。よって、会員の増強と親睦活動を重要課題とし、国際の鶴見を更に継続し目指して行きたいと考えます。より一層の皆様のご協力をお願い致します。

大阪淀川RC 会長

## 西川正一

クラブの歴史は53年になりましたが、会員数は30名前後と随分少なくなっています。そして会員歴10年未満の方が17名と過半を占めています。

クラブの歴史の割には、古き良きロータリーを語り伝え実践を通じて背中を見せてくれる先輩方が少ないクラブだといえます。

しかしながら、奉仕活動の中味は伝統のおかげと言えますか、それなりの質量があると思っております。

クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕(RAC活動を含む)全てで年間計画が実行されています。

そのような状況下で、一番意を注いできたのが毎週金曜日の例会運営です。この人数ですから、会員皆さんに

は何かの役をして頂く全員運営を基本形としてきましたが、これが良かったと感じております。それぞれがアドリブの発言をするようになり、親近感のある例会が行なわれています。

卓話も楽しみの一つになっています。会員の在籍年数を伸ばす為にも、毎週の例会運営が大変重要であることを再認識している次第です。

新大阪RC 会長

## 横山洋一郎

当クラブでは、今年度の活動テーマを「活用しよう！新大阪ロータリー」とし、ロータリークラブに入会しロータリアンになったからには、もう一步踏み出してクラブをもっと活用して充実した楽しいロータリーライフ、またロータリーでないと出来ない体験を実践しようということでクラブ運営をしてまいりました。

何よりもクラブの安定した活動を継続してゆくためには、仲間を増やす必要があるということで「力を合わせて50名一奉仕の輪を広げよう」のキャッチコピーのもと、今年度2名増1名減で現在33名ですが、今年度中には、最低あと2名増の35名にはしたいと考えております。

また来年度は当クラブも30周年を迎えることとなり、奉仕事業の新たな挑戦ということで、社会奉仕部門では、国土交通省で行われている大阪湾再生プロジェクト

へのロータリーとして何かお手伝いできないか検討しております。また友好クラブの台北中興RCと共にやってきた、東日本大震災支援活動の被災地住民を巻き込んだ新たな展開を思案しております。

国際奉仕部門では、GG(グローバル・グラント)を活用した支援を、トルコ・サムスンRCと共にトルココサカ村での飲料水供給プロジェクトを現在申請中です。

今年度も残すところ少しとなってきましたが、これから後につながる事業を模索してゆく年度にしたいものだと会員一丸となって活動しております。

最後になりましたが、来年度はIMホストクラブとなっておりますので、会員一同心をこめて準備させていただきますので、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。